

1. 科目名 (単位数)	生涯学習概論 (4 単位)	3. 科目番号	GELA2329 EDTC2308
2. 授業担当教員	手打 明敏		
4. 授業形態	講義、演習 (調査研究、グループワーク含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、文部科学省令で定められた社会教育主事科目の必修科目であり、社会教育・生涯学習入門とし位置づけられる。社会教育、生涯学習に関する基本的事項について平易に解説する。		
7. 講義概要	「生涯教育・生涯学習」という考え方は、1960年代以降にわが国に導入され、教育改革の原理として成人継続教育としてキャリア教育、リカレント教育などに反映されている。また、地域住民の学習活動支援の充実が図られている。本科目は、「生涯学習」の基本的な考え方と実際の生涯学習活動について概説することを通して、受講者一人ひとりが、「生涯学習」の意義を理解し、自己の充実・キャリア形成に役立てることを目的とする。同時に、生涯学習社会の実現に向けた学習活動を支える専門職員である「社会教育主事」「司書」「学芸員」の役割について学び、学校と地域との連携や行政・民間レベルでの様々な取り組みについて理解を深めるとともに、生涯学習の国際的動向についても理解を深めることを目指す。		
8. 学習目標	この授業では、国際的動向をふまえて「生涯教育・生涯学習」の考え方を理解するとともに、学校教育、社会教育との関係について理解することを目標とする。 そのために次の5つの到達目標を設定する。 1) 「生涯学習」を支える理念・思想について理解した上で、わかりやすく説明することができる。 2) 「生涯学習」の現代的意義を理解した上で、生涯学習社会に向けた学校と地域との連携や行政・民間レベルでの諸活動の役割について、わかりやすく説明することができる。 3) 「社会教育主事」に求められる役割を理解した上で、学校教育とは異なる学習者支援の方法を理解する。 4) 地域の生涯学習・社会教育の実践に関心をもち、研究課題を設定できる。 5) 「生涯学習」の国際的動向について説明することができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	「期末レポート」の課題 本授業を受講することで、生涯学習についての認識がどのように深化したかをまとめていただく。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 手打明敏・上田孝典『社会教育・生涯学習』(MINERVA はじめて学ぶ教職7) ミネルヴァ書房、2019年		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 現代社会を生きていく上での生涯学習の意義とともに生涯学習に関する内外の多様な考え方を理解し、具体的に説明できる力を身につけたか。(知識・理解) 2. 我が国の生涯学習政策の動向、とくに地域創生や学校教育支援に果たす生涯学習関連職員の役割について理解した上で、生涯学習の課題について自身の見解をまとめ、表現できる力を身につけたか。(思考力・判断力・表現力) ○評定の方法 【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】 1. 授業への取り組み姿勢 総合点の20% 2. 授業内での課題提出 (小テスト・課題レポート等) 総合点の30% 3. 期末試験またはレポート 総合点の50%		
12. 受講生へのメッセージ	本学において、生涯学習概論を含めて社会教育主事養成科目 (24 単位) を修得することで社会教育主事となる基礎資格を得ることができるとともに社会教育士の称号が付与される。社会教育士は生涯学習・社会教育の専門的知識をもつ専門家として地域社会において社会教育主事と協働して学習支援活動を行うことが期待されている。今後、地域福祉や学習支援 NPO などの職員にも社会教育士の称号を有することが期待される。生涯学習の考え方は現代の学校教育改革とも深く関連しているので、教職を目指す学生も受講していただきたい。本授業は教科書を使用するとともに視聴覚教材等を適時活用し、分かりやすい授業をおこないたい。受講学生との対話を重視して授業をおこなう。		
13. オフィスアワー	初回授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション シラバスの説明 (授業の進め方)	事前学習	シラバスを調べ、その内容や構成、進め方を理解する。
		事後学習	生涯学習社会の実現、その考え方、意義について整理し、まとめる。
第2回	社会教育・生涯学習と学校1	事前学習	序章 (pp. 1~5) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	社会教育・生涯学習政策と学校との関係を整理する。
第3回	社会教育・生涯学習と学校2	事前学習	教科書 (pp. 5~8) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	生涯学習政策における学校の役割を整理する。
第4回	社会教育・生涯学習と学校3	事前学習	教科書 (pp. 9~11) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	地域と連携・協働する学校について整理する。
第5回	社会教育・生涯学習の思想と歴史1	事前学習	教科書 (pp. 17~22) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	社会教育法の理念について整理する。
第6回	社会教育・生涯学習の思想と歴史2	事前学習	教科書 (pp. 23~28) を読み、分からない部分をチェックしておく。

		事後学習	ユネスコの生涯教育・生涯学習論を整理する。
第7回	社会教育・生涯学習の法制と行政	事前学習	教科書 (pp. 31～43) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	社会教育行政を支える法制度を整理する。
第8回	社会教育・生涯学習の施設と職員1	事前学習	教科書 (pp. 45～50) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	公民館の機能、役割について整理する。
第9回	社会教育・生涯学習の施設と職員2	事前学習	教科書 (pp. 50～57) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	図書館・博物館の機能、役割について整理する。
第10回	社会教育・生涯学習の対象と方法	事前学習	教科書 (pp. 59～69) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	社会教育・生涯学習の対象である青少年・成人の学習の特性、学習支援の方法を整理する。
第11回	世界の生涯学習政策1	事前学習	教科書 (pp. 73～78) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	ユネスコの生涯学習論を整理する。
第12回	世界の生涯学習政策2	事前学習	教科書 (pp. 79～84) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	ヨーロッパ、アジア・太平洋地域の生涯学習の取り組みを整理する。
第13回	第1部のまとめ	事前学習	序章から第5章までの中で関心をもった事項、疑問点をチェックしておく。
		事後学習	質疑応答で理解したことをまとめる。
第14回	「開かれた学校」にみる社会教育1	事前学習	教科書 (pp. 89～96) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	「開かれた学校」が求められる社会的背景を整理する。
第15回	「開かれた学校」にみる社会教育2	事前学習	教科書 (pp. 96～99) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	地域と学校の連携・協働を具体化する仕組みについて整理する。
第16回	地域文化の継承	事前学習	教科書 (pp. 103～115) を読み、分からない点をチェックしておく。
		事後学習	地域の伝統芸能等を継承する学びを整理する。
第17回	地域防災教育の展開1	事前学習	教科書 (pp. 117～121) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	大規模災害と社会教育の課題を整理する。
第18回	地域防災教育の展開2	事前学習	教科書 (pp. 122～126) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	地域防災教育の実践事例を整理する。
第19回	第II部のまとめ	事前学習	第6章から第8章までの中で関心を持った事項、疑問点を整理する。
		事後学習	質疑応答で理解したことをまとめる。
第20回	貧困・格差社会を生きる子どもの暮らしと社会教育1	事前学習	教科書 (pp. 131～135) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	「子どもの貧困」について整理する。
第21回	貧困・格差社会を生きる子どもの暮らしと社会教育2	事前学習	教科書 (pp. 135～142) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	「子どもの貧困」解決に向けた教育の可能性を整理する。
第22回	若者支援と居場所づくり1	事前学習	教科書 (pp. 145～150) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	戦後社会教育における若者支援を整理する。
第23回	若者支援と居場所づくり2	事前学習	教科書 (pp. 150～156) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	若者支援の現状と課題について整理する。
第24回	地域スポーツの推進と生涯学習1	事前学習	教科書 (pp. 159～164) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	地域スポーツ振興の法制度を整理する。
第25回	地域スポーツの推進と生涯学習2	事前学習	教科書 (pp. 164～171) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	地域スポーツを支える施設・人材等について整理する。
第26回	地域で生きる障害者1	事前学習	教科書 (pp. 175～179) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	ノーマライゼーションの考え方を整理する。
第27回	地域で生きる障害者2	事前学習	教科書 (pp. 179～186) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	ノーマライゼーションの実現に果たす教育の役割を整理する。

第28回	多様性を包摂する社会教育を目指して1	事前学習	教科書 (pp. 189～193) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	戦後日本における多文化・多民族社会の様相を整理する。
第29回	多様性を包摂する社会教育を目指して2	事前学習	教科書 (pp. 193～200) を読み、分からない部分をチェックしておく。
		事後学習	国際化の進展と多文化共生の諸相を整理する。
第30回	第Ⅲ部のまとめ	事前学習	第9章～第13章までの中で関心を持った事項、疑問点を整理する。
		事後学習	質疑応答で理解したことをまとめる。
期末試験			